

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	薬理学 I		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	薬業科1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	小畑俊男	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
薬物とは生体に何らかの影響を与える化学物質すべてのことである。そのうち病気の治療などに有用なものを医薬品という。薬理学Iでは薬物を薬理作用と薬物動態の両方から学習します。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末テストと出席状況による						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 医学書院						
《授業外における学習方法》						
指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習をしっかりと行ってください						
《履修に当たっての留意点》						
出席を大切にしてください						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬の作用	薬理学 疾病のなりたちと 回復の促進3	指定した教科書で予習を行う	
		各コマにおける授業予定	薬理学と何か。薬はどのように作用するのかについて理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物の体内動態(1)	薬理学 疾病のなりたちと 回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う	
		各コマにおける授業予定	薬物治療の目指すもの。及び薬はどのように体内をめぐるのかについて理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬物の体内動態(2)	薬理学 疾病のなりたちと 回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う	
		各コマにおける授業予定	薬物の血中濃度と消失半減期について理解する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗感染症薬	薬理学 疾病のなりたちと 回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う	
		各コマにおける授業予定	感染症治療薬に関する基礎知識及び抗菌作用のしくみについて理解する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗がん薬	薬理学 疾病のなりたちと 回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う	
		各コマにおける授業予定	抗がん作用のしくみについて理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫治療薬	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	免疫反応のしくみ及び予防接種とは何かについて理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗アレルギー薬・抗炎症薬	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	アレルギーとは何かについて理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳神経系のはたらき	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	脳神経系による情報伝達及び自律神経系の分布について理解する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系作用薬	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	自律神経系作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬について理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系作用薬(1)	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	全身麻酔薬、催眠薬、抗不安について理解する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系作用薬(2)	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	抗精神病薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、麻酔薬、鎮痛薬について理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液と造血系作用薬	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	血液系に作用する薬物、貧血治療薬について作用する薬物について理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンとビタミン	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	ホルモンとビタミンとは何かについて理解する。治療薬としてのビタミンについて理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン症候群	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病の原因について理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習問題を通してこれまでに習った薬についての理解を深め、問題をとくことができるようになる。	薬理学 疾病のなりたちと回復の促進3	指定した教科書で予習を行うとともに、配布資料を元に復習を行う
		各コマにおける授業予定	総まとめ		